

こんにちは♪

2025年
11.30
No.1119



日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです！

東条英機と高市首相

先週号のこのニュースで、高市首相は防衛費をGDP比2%にする方針であることをお伝えしましたが、早くも首相が発表した経済対策に盛り込まれてしまいました。なぜ防衛費が経済対策なのでしょう。しかも、経済対策に防衛費を盛り込むなんて前代未聞です。

防衛費の増額で処遇改善をし、自衛隊の所得が上がると消費の拡大になると説明します。武器の製造を軍需産業に発注するので企業がもうかるといいます。だから広い意味での経済対策なのだと。これこそ“詭弁”です。

国民が物価高騰で苦しんでいる時に、防衛費の増額なんて許されません。しかも、武器の多くはアメリカから購入することになっており、トランプ大統領を喜ばせるだけです。高市内閣の軍拡計画には断固反対です。

ウクライナやガザで人々を殺し、家を壊し、まちを壊滅的な状態にした大量のドローンの購入まで含まれています。敵基地攻撃用の長距離ミサイルも購入します。「台湾有事での武力行使」を意識しているのでしょうか。

今回の経済対策には、子ども1人2万円の給付や光熱費の補助なども含まれており、期待もあります。これは大事な対策ですが、一時しのぎ的な対策ではなく、消費税の減税こそ待たれています。一般的な家庭では約12万円の減税効果があり、有効な経済対策になります。

さらに、医療・介護現場への補助金も経済対策に含まれています。良いことではありますが、その一方で、国民負担を増やす考えです。いま計画されていることは、病院の窓口負担を増やす、一部の薬を保険から外し全額自己負担にする、高額療養費を引き上げる、終末期医療の自己負担を増やすなどです。「命の沙汰も金次第」です。

今私は『東条英機と天皇の時代』という本を読んでいます。東条英機がどういう人物だったのか、どうして戦争に突入していったのか、どのような戦争指導者だったのかなどが、詳細に記されています。読んでみると、東条英機と高市首相がとても似ていると感じます。だからこそ、高市首相は本当に戦争を始めてしまうのではないかと、恐怖感を覚えます。

高市内閣の支持率は6割を超えていますが、高市内閣の危険性をみなさに知ってもらい、「平和を守るために政治を変えよう」という声を多数にしたいと思います。